The Voice Meister GILSEED

Monitor Research

GILSEED Bluetooth® Module

Bluetooth®

「GVZ-09BTC」

取付説明書

取り付けミスは誤作動や車両の電装品に悪影響を与える原因となります。
車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、焼損、故障などが発生しても弊社では一切の責任を負いかねます。

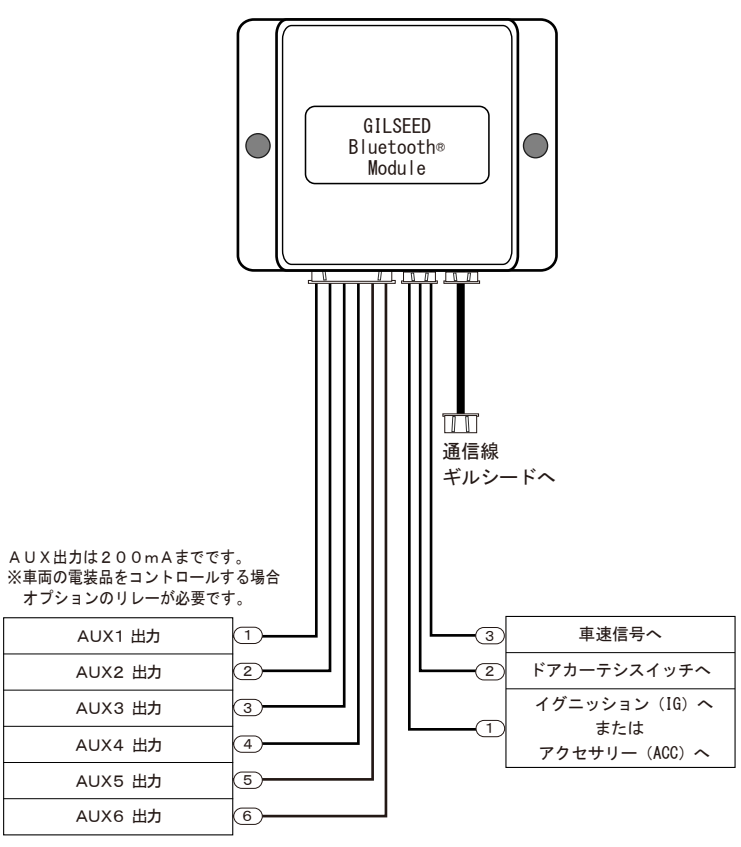
Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標で有限会社モニターリサーチはこれらの商標を使用する許可を受けています。

※本製品の仕様やデザインは製品向上のため、予告なく変更する場合があります。

GVZ-09BTC の梱包物　（お取り付けの前に必ずご確認ください）

- GILSEED Bluetooth® Module ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 通信ケーブル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 接続ケーブル3ピンコネクター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 接続ケーブル6ピンコネクター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- セットアップガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 取付説明書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ユーザーPINコードカード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

全体配線図



各配線例は裏面をご覧ください

お取り付け前に関する注意　必ずお読みください

本製品をご使用になられるお客様への損害を未然に防止する為に、
守って頂きたい事項を記載しております。

危険

- 本製品の取り付けは車両電装の正しい知識が必要になります。
  知識のない方の取り付けは絶対におやめください。
- 本製品は１２Ｖ車両専用です。
  ２４Ｖ車両には装着できません。

警告

- エアバック（ＳＲＳ）装備車、ボディーコンピューター、その他特殊な装備をしている場合にはバッテリーの配線やヒューズを抜くなどして電源供給を止めないように留意してください。電源が切断されますと車両側が故障し機能しなくなる場合があります。また、誤作動により人身事故につながる可能性があります。
- 本体やオプション製品を取り付ける際は必ずエンジンを停止して換気の良い場所で作業を行ってください。排気ガスが充満して危険です。
- 部品をパネル等に取り付ける際は、他の機器に影響を与えない場所に設置してください。特にブレーキパイプ、ホース類には設置しないでください。
- 必ず正しい方法で取り付け配線を行ってください。取り付け及び配線を誤ると、車両装置、機器類を破損または焼損する原因となります。
- 本製品やオプション製品を水・湿気・熱・ほこり・油等の多い場所に保管または設置しないでください。
- 本製品のマイナス出力は最大１００～２００ｍＡまでです。
  電装品をコントロールされる場合は、必ずリレーを使用してください。
- バッテリーからの直接配線を行わないでください。

注意

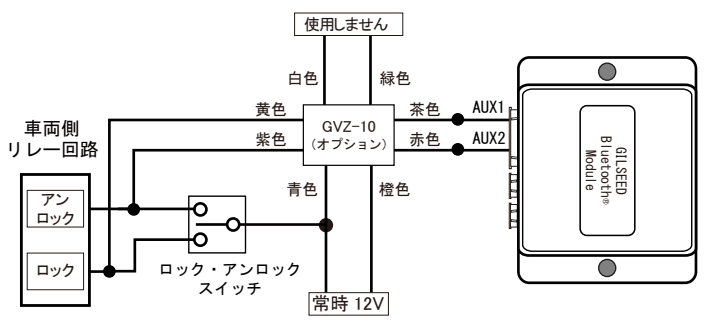
- 本体から各種オプション部品に配線接続を行った場合は保護の為、貫通口に必ずゴムブッシュ等をご使用ください。また、電装保護の為コルゲートチューブなどをご使用ください。
- ＳＲＳエアバックや盗難防止機能付きラジオを装備した多くの車両はバッテリーが外された事をメモリーする機能があり、このメモリー状態を解除する場合は専用のＩＤコードが必要になり車両を購入したディーラーでなければ解除出来なくなる場合があります。
- 取り付け終了後、必ず取り付けをした機能の全てをテストしてください。
- 車両のバッテリーが弱まっている場合、車両本来の機能に不備があると、システムが正常に作動しないことがあります。常に車両の整備が行き届いた状態での取り付けを行ってください。
- 未接続線は必ず絶縁処理をしてください。
- 車内へ配線を通す際は、車内への水分等の浸入を防ぐ為、配線を貫通口の手前でたるませ水分等を十分落としてから通してください。
- ダッシュボード等の直射日光で高温になる場所には取り付けないでください。
- 本製品を純正キーレスコントロールユニットに近づけますと、感度が悪くなる事がありますので注意してください。
- 本製品を取り付けられた車両が盗難・火災・その他の災害や人的被害に遭われましても弊社では一切の責任を負いかねます。

ドアロック・アンロック配線

車両にドアロックスイッチがあり、そのスイッチのコントロール方式がプラスコントロールの場合

タイプ A プラスコントロール

【配線例】



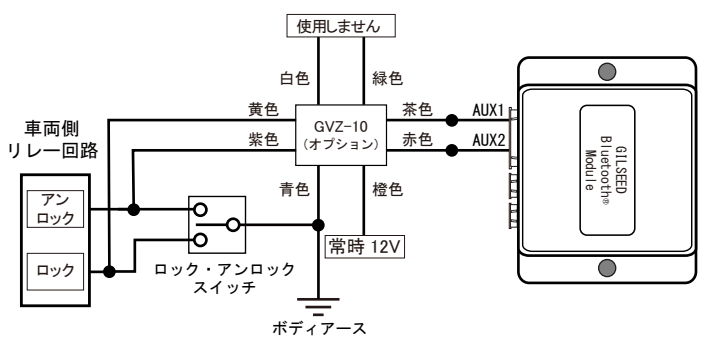
※未接続線は必ず絶縁処理をしてください。

ドアロック・アンロック配線

車両にドアロックスイッチがあり、そのスイッチのコントロール方式がマイナスコントロールの場合

タイプB マイナスコントロール

【配線例】



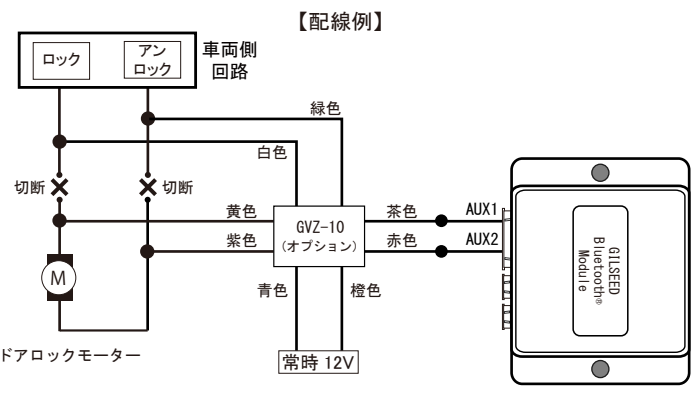
※未接続線は必ず絶縁処理をしてください。

ドアロック・アンロック配線

車両にドアロックをコントロールするスイッチ（ドアロックスイッチ）がない場合
運転席にドアロックアクチュエーターがある場合
集中ドアロック機能がある場合

タイプ C（極性反転方式）

【配線例】



注意

黄色と紫色がドアロックモーター側になります。車両ユニット側に配線された場合、製品故障や車両火災の原因となりますので絶対に配線をしないでください。

スマートキースイッチ使用「ドアロック」「アンロック」（１回路）

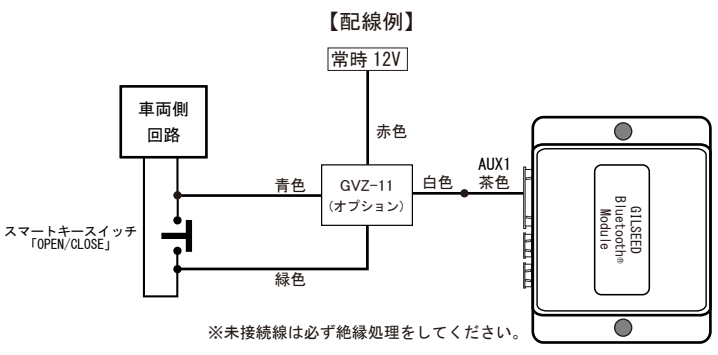
スマートキースイッチの「ロック」「アンロック」が1回路の場合

運転席側のスマートキースイッチ配線例となります。
車両により、各ドアのスマートキースイッチに下記の配線が必要です。

ご注意：車種により、車両から 30cm ～1m 以上離れると「ロック」「アンロック」されません。

※純正セキュリティは連動されます。

【配線例】



※未接続線は必ず絶縁処理をしてください。

スマートキースイッチ使用「ドアロック」「アンロック」（２回路）

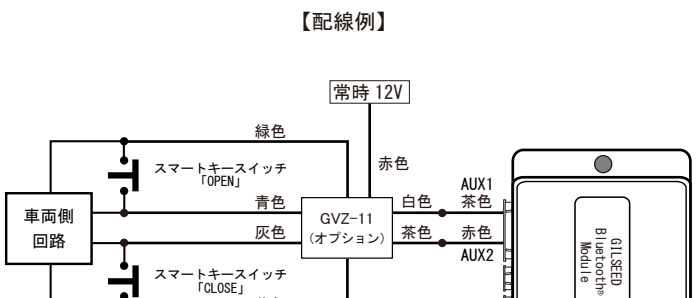
スマートキースイッチの「ロック」「アンロック」が2回路の場合

運転席側のスマートキースイッチ配線例となります。
車両により、各ドアのスマートキースイッチに下記の配線が必要です。

ご注意：車種により、車両から 30cm ～1m 以上離れると「ロック」「アンロック」されません。

※純正セキュリティは連動されます。

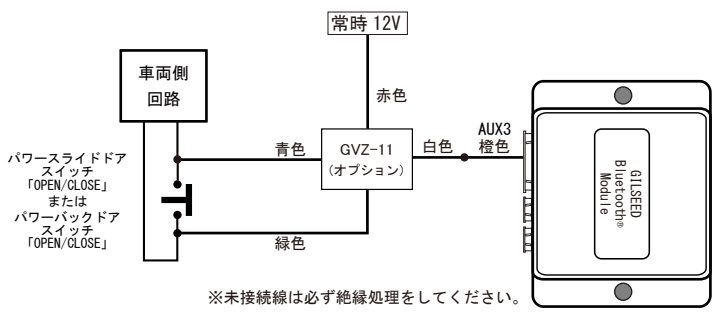
【配線例】



パワースライドドア・パワーバックドア配線（１回路）

パワースライドドアスイッチ・パワーバックドアスイッチが1回路の場合

【配線例】

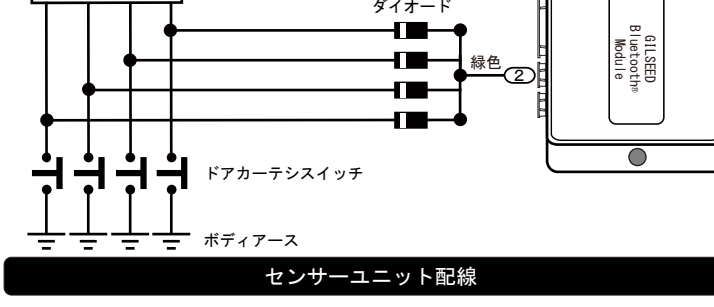


※未接続線は必ず絶縁処理をしてください。

パワースライドドア配線（２回路）

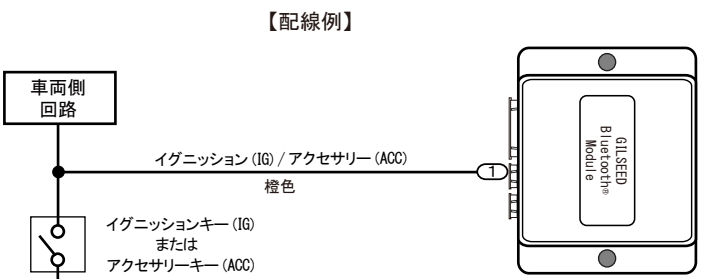
パワースライドドアスイッチが2回路の場合

【配線例】



イグニッション（IG）/アクセサリー（ACC）配線

【配線例】

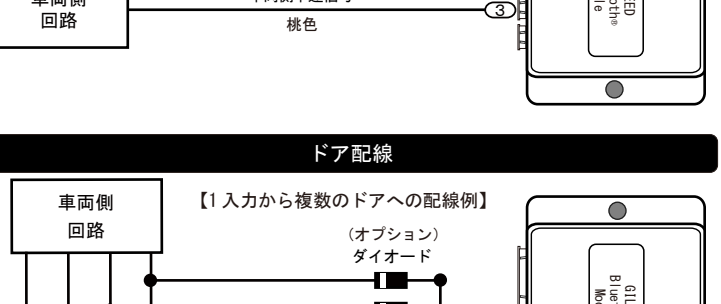


車速配線

【配線例】

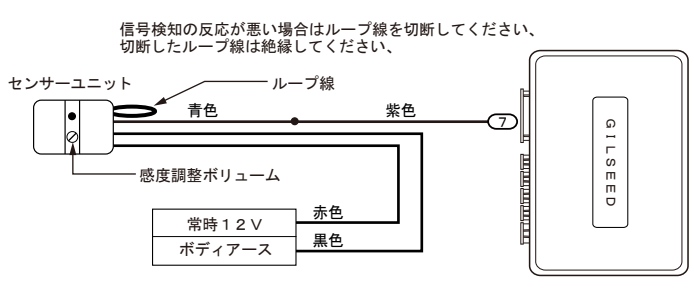
ドア配線

【1 入力から複数のドアへの配線例】



センサーユニット配線

【配線例】



故障かな？と思ったら

症　状	原　因
●GILSEED Bluetooth® Module が起動しない。	●ギルシード本体へ電源供給は正常に行われていますか？ ●通信線の接続は行われていますか？
●音声認識等でロック・アンロック・パワースライドドア・パワーバックドアが動かない。	●GILSEED Bluetooth® Module と端末（スマートフォン）は接続されていますか？ ●GILSEED Bluetooth® Module の「AUX」出力線とアプリの「コントロール」の設定が一致していますか？ ※ 詳しくは「取扱説明書」の「コントロール」と本誌の「全体配線図」をご確認ください。 ※「取扱説明書」はセットアップガイドの QR コードから取得してください。 ●アプリの「コントロール」の「使用用途」がロック・アンロック・パワースライドドア・パワーバックドア等に設定変更されていますか？ ※ 詳しくは本誌の「コントロール」をご確認ください。
●車速ロックが動かない。 ●エンジン停止後アンロックが動かない。	●アプリ「オプションメニュー」の Bluetooth® 設定で車速ロックが「ON」になっていますか？ ●ロック・アンロック配線は行われていますか？
●走行機能が喋らない。 ●停止機能が喋らない。 ●休息機能が喋らない。	●アプリ「オプションメニュー」の Bluetooth® 設定で各機能が「ON」になっていますか？ ●車速・イグニッションまたはアクセサリーへ配線は行われていますか？
●リアーム機能が動かない。 ●半ドア警告機能が動かない。 ●スリープ後、ドアを開けても起動しない。	●アプリ「オプションメニュー」の Bluetooth® 設定でリアーム・半ドア警告が「ON」になっていますか？ ●ドアの配線は行われていますか？ ●入力学習は正常に行われていますか？
●最初は各機能が動いていたのに、急に動かなくなった。	●電源線等が圧着不良を起こしていませんか？